

平成 31 年度事業計画書

テーマ：医療・介護・福祉ネットワークの連携を図り、心身機能の自立支援と安心ある暮らしの地域交流を目指す

サブテーマ：一人ひとりの認知症状を理解し、情報の共有とチーム力を強化する

（認知症対応型通所介護）デイサービスセンターいこい・ほほえみ

1. 認知症の病気を理解し、症状に合わせた個別ケアを提供する

職員間で情報を共有し、統一したケアを提供する

- ①ケアの中で得られた気づきを、チーム内ミーティングにより、個別ケアに繋げる。
- ②利用者一人ひとりの“できること”を探し、役割により自信や生きがいに繋がられるよう支援する。
- ③長谷川式スケールを活用し、認知機能状況を理解し対応する。

2. 地域交流の継続

地域に、いこい・ほほえみの活動内容を認識してもらえよう、取り組みを継続する

- ①利用者の活動の成果として、作品を「あいあい祭り」や法人の秋祭りに出展し、地域交流に繋げる。
- ②運営推進会議の参画や地域ケア会議に参加して、地域ニーズの把握と解決に努める。
- ③年 2 回の家族会を、介護家族の思いを共有すると共に、広くデイの活動内容を紹介し理解を深める。

3. 利用者と家族の思いに寄り添い支援に努める

ケアマネとの情報交換を密にし、本人と家族が安心できる環境を提供する

- ①本人の状態や家族の希望に応じた利用時間、または送迎時間の調整を行う。送迎時間において居宅の状況に応じて柔軟に対応する。
- ②体調変化に応じて受診の呼びかけや、家族が抱える困難な課題に対しては、ケアマネと情報共有し、迅速かつ適切な対応に努める。